

山形県公立大学法人における競争的資金に係る間接経費の取扱方針

平成 31 年 1 月 31 日理事長決定

1 目的

この方針は、「競争的資金の間接経費の執行に係る共通指針（平成13年4月20日 競争的資金に関する関係府省連絡会申し合わせ）」（以下「共通指針」という。）に基づき、山形県公立大学法人が設置する山形県立米沢栄養大学及び山形県立米沢女子短期大学における競争的資金に係る間接経費の取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

2 用語の定義

この方針において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- （１） 競争的資金 資源配分主体が広く研究開発課題等を募り、提案された課題の中から、専門家を含む複数の者による科学的・技術的な観点を中心とした評価に基づいて実施すべき課題を採択し、研究者等に配分する研究開発資金をいう。
- （２） 直接経費 競争的資金により行われる研究を実施するために、研究に直接的に必要なものに対し、競争的資金を獲得した研究機関又は研究者が使用する経費をいう。
- （３） 間接経費 直接経費に対して一定比率で手当てされ、競争的資金による研究の実施に伴う研究機関の管理等に必要な経費として、研究機関が使用する経費をいう。

3 間接経費使用の基本方針

- （１） 間接経費の使用に当たり、計画的かつ適正に執行するとともに、使途の透明性を確保する。
- （２） 間接経費は、複数の競争的資金を獲得した場合には資金元の制約がない限り、まとめて使用することができる。
- （３） 間接経費に直接経費を合算して使用することはできない。

4 間接経費の使途

間接経費は、競争的資金を獲得した研究者の研究開発環境の改善や研究機関全体の機能の向上に活用するために必要となる経費に充当するものであり、具体的な項目は、別表に示す経費を対象とする。ただし、これ以外でも理事長が研究課題の遂行に関連して間接的に必要と判断した場合は、執行することを可能とするが、直接経費として充当すべきものは対象外とする。

5 報告

理事長は、証拠書類を適切に保管したうえで、毎年度の間接経費使用実績等を翌年度の6月30日までに配分機関に報告する。

6 取扱いの変更

関係府省より共通指針等に見直しがあった場合には、この方針は随時見直すこととする。

(別表)

区分	内容
管理部門に係る経費	①管理施設・設備の整備、維持及び運営経費 ②管理事務の必要経費 備品購入費、消耗品費、機器借料、役務費、人件費、 通信運搬費、謝金、旅費、会議費、印刷費など
研究部門に係る経費	①共通的に使用される物品等に係る経費 備品購入費、消耗品費、機器借料、役務費、通信運搬費、 会議費、印刷費など ②当該研究の応用等による研究活動の推進に係る必要経費 研究者・研究支援者等の人件費、備品購入費、消耗品費、 機器借料、役務費、謝金、旅費など ③特許関連経費 ④研究棟の整備、維持及び運営経費 ⑤設備の整備、維持及び運営経費 ⑥ネットワークの整備、維持及び運営経費 ⑦図書館の整備、維持及び運営経費など
その他の関連する事業 部門に係る経費	①研究成果展開事業に係る経費 ②広報事業に係る経費など